
花束の行方 修正版

ナイトバロン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

花東の行方 修正版

【Nコード】

N3940F

【作者名】

ナイトバロン

【あらすじ】

バーカウンターに並ぶ二人の男。高木と小五郎のお話。同タイトルの小説を投稿しましたが、ご指摘をうけた箇所を削り、改めて投稿しました。

(前書き)

大雑把でも、キャラ同士の関係を理解していないと、理解できない箇所があります。

「たかが喧嘩くらいで、そんな辛気臭い顔してんじゃねえよ高木い」
バーカウンターに並ぶ二人の男。ウイスキーのボトルを一本空にした小五郎は、その酒臭い息をまき散らしながら、高木の首に自らの腕を巻きつけていた。高木は抵抗することもなく、小五郎の酒臭い息にじっと耐えている。こういう場合、無暗に抵抗したり、反論したりするのは逆効果だ。適当に相槌を打ちつつ、相手の機嫌を損ねない程度に口を出す。それが、高木流の酔っ払いに対する対処法だ。しかし、今日の高木は違っていた。勇敢にも、このタチの悪い酔っ払いに意を決して立ち向かったのだ。

「たかが喧嘩といいますがね、毛利さん。佐藤さん、もう三日も口を利いてくれないんですよ。僕にとつて、佐藤さんはこの世で一番大切な女性なんです。このまま別れるなんて言われたら、僕はもう……」

「バーカ。喧嘩の一つや二つでいちいち落ち込んでられっか。天下の警視庁捜査一課の刑事が、なに情けねえこと言ってたんだ。あつ、ウイスキーもう一本ね」

上機嫌に注文を告げる小五郎。今日は、競馬で一山当てたらしい。競馬場からの帰り道、たまたま見かけた高木を連れ、近くのバーへとやってきたのだ。

おごると言っても、あまり浮かない顔をする高木。訳を聞くと、同僚で恋人の佐藤美和子と喧嘩中なのだという。はじめこそ「高木を慰める会」との名目で始まった二人だけの飲み会。しかしいつの間にか、酒を飲んでいるのは小五郎一人。高木は、グラスの氷を指で弄び、そして溜息をつく。背中がまるで対照的である。

「だいたい、なにが原因なんだ？ お前、浮気でもしたのか」

「ち、違いますよ！ 浮気なんかするわけないでしょ。実は……、約束をすっぱかしちゃったんですよ。久しぶりに休暇が重なったん

で、一緒に買い物に行く約束をしていたんですが……」

みるみる背中が小さくなる高木。

「そりゃ、完全にお前が悪いな。さっさと謝って仲直りしてこい」
適当に話を流す小五郎。高木は、小五郎に相談したことを後悔し始めていた。

「もう何度も謝りましたよ。見向きもしてくれませんでした」

高木はぶっきらぼうに答えると、ほんの少ししか口を付けていなかったウイスキーをぐいっと飲み干した。普段、あまり酒を飲まない彼は、この一杯で顔を真っ赤にしてしまった。

「俺の経験からいってだな、女ってのは贈り物に弱いもんなのよ。いきなり花束でも渡してみろ。喧嘩のことはチャラ、うまくすればお前の株も上がるぞ。ひっく」

「えー？ そんなに上手くいくもんっすかねえ。酔っぱらいは信用ならないからなあ」

「バカ野郎！ 俺を誰だと思ってやがる。天下の名探偵、毛利小五郎様だぞ！ なーっはっは」

二人の男の甲高い笑い声が、店中に響き渡った。

近頃、毛利探偵事務所には、必ずといって良いほど花が飾ってあるらしい。毛利探偵が飲みに行った帰りに、何故か花束を買ってくるのだそうだ。理由を聞いても、毛利探偵はなにも答えないという。

おわり

（後書き）

佐藤さんと歩美ちゃんのくだりは、読んでいていらないうちのあと思ひ、思ひ切つて削除しました。かういふことは投稿前にやるべきことなのですが……。

すつきりした良い作品になりました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3940f/>

花束の行方 修正版

2011年1月27日08時49分発行